

道標

進路だより（みちしるべ）
第8号
札幌市立篠路西中学
3学年
令和4年6月30日発行



「推薦受験」についてのお知らせ

推薦入試制度は、大きく「自己推薦」と「学校長推薦」に分かれています。もし少しでも考えている場合には1学期末三者懇談で話題に出してください。

「自己推薦」は公立でも私立でも志望する学校のスクールポリシーや校風を理解し、自己推薦書を各学校の様式で提出することになります。早めの相談も必要になります。

学校長推薦ではその学校で学びたいという「強い意志や興味・関心」があり、かつ「日常生活や学習面でも努力」し、「入学後も生徒会や部活動などで頑張っていける」などの条件を満たし、中学校長の推薦を受けて、出願資格を得るものです。

＜自己推薦で受験する場合＞

1 自己推薦受験の申し出

公立高校では各高校のスクールポリシーを確認、また、私立高校では高校の要綱を確認して、自己推薦出願の意志をできるだけ早い時期に伝えてください。

※1 自己推薦を実施する高校については北海道及び札幌市の教育委員会HPに掲載されています。

2 自己推薦書の練習

自己推薦書練習用紙を担当から受け取り、記入した練習用紙を担当以外の学年の先生2名に確認してもらいアドバイスをもらう、修正が必要であれば直して担任に提出する。11月中には仕上げる。

3 自己推薦書の提出

公立高校は各高校から12月中旬（予定）に送付される自己推薦書に清書し2学期終業式までに提出する。私立高校（通信を含む）は、2学期末三者懇談時に提出する。

＜学校長推薦で受験する場合＞

1 学校長推薦出願資格

学校長推薦入試を志望する者は、次の各項目に該当し、かつ在籍する中学校長の推薦を得て出願することができる。（北海道の公立高等学校は2023年度入試から自己推薦に変更になる）

- ①令和4年3月に道内の中学校を卒業する予定の者
- ②出願する動機及び理由が明確である者
- ③当該学科に対する適性・興味・関心及び学習意欲を有する者

2 学校長推薦基準

- ①人物的に学校長推薦に値すると認められること。
- ②一般受検をしても十分合格が見込まれる学力を有すること。
- ③各校の推薦基準に合致していること。
- ④生活・行動面で問題がないこと。

※推薦内定後に上記の事項に反する行為があった場合、取り消しもありえます。

3 学校長推薦決定までの手順

- ①推薦制度説明 進路だよりを使用し説明（保護者には9月30日（金）の進路説明会でも説明）
- ②本人及び保護者からの申し出 10月17日（月）～10月21日（金）
・電話などにより直接、担任に申し出る。
- ③推薦依頼書の推薦希望者への配付10月24日（月）、推薦依頼書締め切り 11月4日（金）
- ④高校推薦委員会での審議 11月29日（火）
- ⑤家庭への連絡 11月30日（水）・担任は、推薦委員会での審議の結果を家庭に連絡する。
- ⑥校長面接 ・校長が直接、推薦候補生徒と面接し、推薦生徒を決定する。
- ⑦家庭への連絡・担任は、学校長の決定を受け、学校長推薦の可否について家庭に連絡する。

《札幌東商業高等学校》 学校説明会

- 日 時： 7月30日(土)第1回8:30～ 第2回10:30～ 第3回12:30～ 第4回14:30～
○内 容： 学校説明、学校紹介ビデオ、個別相談会、部活動、校舎見学他
○申し込み： 東商業高校ホームページから申込み。先着順

《北海道美唄聖華高等学校》 学校見学会

- 日 時： 7月27日(水) 午前の部 受付9:30 午後の部 受付13:00
○内 容： 学校説明、施設見学、質疑応答、寮見学など
○申し込み： 7月18日(月)中学校の参加申込書の余白に午前・午後の希望を書き担任に提出
※6月25日(土)TKP札幌カンファレンスセンターで13時から説明会があります。
詳しくは6月20日までに進路担当浅井へ

新3年生のみなさんへ先輩からのアドバイス その4

次は皆さんの番です。悔いを残すことの無いよう計画を立て、より良い方向に計画を修正しながら、中学校から次のステップに進んでほしいと思います。先輩たちの言葉をぜひ参考にしてください。

- 進路選択の決め手は、そこが「自分にとっていい学校だ」ということ
- 校風や教育方針はどうか。服装、頭髪など、校則はどうなっているか。
- 高校卒業後の進路状況はどうか。進学校か、就職に力を入れている学校か。
- 部活動にはどんなものがあるか。特に活躍の目立つものは何部か。
- 交通機関や通学時間はどうか。また通学にかかる費用はどれほどか。
- 入学金、毎月の授業料、その他実習費や教材費はどれほどか。
- 大学など、上級学校への推薦入学制度はあるか。
- 今の自分の学力で合格できそうか。また入学後、どの程度の成績をとれそうか。

3高校に進んで大変だったこと、困ったこと

- ①楽しい雰囲気にならされて、勉強が遅れてしまいました。大学受験直前に苦労しました。
- ②部活動と勉強を両立することが大変でした。自己管理が大切だと痛感しました。
- ③自分と同じような成績の人が机を並べるわけですから、みんなと同じような努力をしていたのでは、なかなか成績は上がりません。中学校時代の貯金だけではもちませんでした。
- ④男子校だったので、最初はとまどいました。でも、慣れてくると気楽でよかったです。
- ⑤就職活動が大変でした。中学校のうちから見通しをもつべきです。
- ⑥通学時間が長くて大変でした。特に冬場はつらかったです。

アドバイス2 ～高校選択の視点～

◎進路選択の決め手は、そこが「自分にとっていい学校だ」ということ

大事な青春時代を送る高校です。自分を輝かせることができ、自分の個性を伸ばすことができなければ意味がありません。進路選択を失敗しないために、次の事がらを調べてください。

●校風や教育方針はどうか。服装、頭髪など、校則はどうなっているか。

●高校卒業後の進路状況はどうか。進学校か、就職に力を入れている学校か。

●部活動にはどんなものがあるか。特に活躍の目立つものは何部か。

体育系では⇒野球、バレー、バスケット、サッカー、ラグビー、テニス、陸上、卓球、バドミントン、剣道、柔道、弓道…

文化系では⇒放送局、編集局、演劇部、合唱部、吹奏楽部、弁論部…

●交通機関や通学時間はどうか。また通学にかかる費用はどれほどか。

●入学金、毎月の授業料、その他実習費や教材費はどれほどか。

●大学など、上級学校への推薦入学制度はあるか。

●今の自分の学力で合格できそうか。また入学後、どの程度の成績をとれそうか。

◎高校は、視野を広げ、たくましく心豊かな人間を育てる場

高校への進学を、大学進学のための単なる道具にしてはならないと思います。灰色の受験勉強に四苦八苦するよりも、人生を語れる友をもち、部活や生徒会活動などを通じて自分を磨く機会にしたいものです。その体験を通して、挫折に耐えることができ、強く、心豊かなたくましい人間を育てていく場、それが高校だと思います。

◎高校選択で一番考えるべきこと、大事な点は何か。(先輩の生の声から)

ア その高校の進路状況はどうか。高校の資料を見せてもらい、具体的に確かめること。

イ 自分の選択した高校で、本当に3年間うまくやっていけるかどうかを、じっくり考える こと。

特に教育方針、校風、施設や設備、カリキュラムなどを調べること。

ウ 将来何をしたいのかを考えて、高校の選択をすること。高卒後は大学進学希望なのか、それとも専門学校へ行くのか、または就職か。高卒後の見通しをもつことです。

エ 高校は本来、勉強するところだということを、しっかり確認すること。大学への通過点 でもないし、ましてや大学受験のための予備校でもありません。勉強しながら部活な どもを通じて、お互いに自分自身を磨き上げるところです。自分を伸ばしてくれる高校 を選択するのがベストです。

オ 「仲のよい友達が行くから私も…」という感じで高校を決めることは、絶対にしない こと。

「将来どんな道に進むか」、そのためには「〇〇高校へ行って、何をするんだ」という目的をしっ かりもつこと。目的意識をもつことが、最も大事なポイントです。

カ 「絶対に公立高校でないとダメ」とこだわるのは間違いだと思います。公立高校か、 私立高校かではなくて、「どの高校が自分をよく伸ばせるか」と考えるところがポイ ントです。

1 高校選択をする場合の先輩からのアドバイス 1

①将来自分がなりたい職業を考えて高校を選択した方がよいと思います。進む高校によって自分の進路が左右されます。

②何となく進学先を決めてはいけません。自分の意志や希望をしっかりともち、それに向けての努力をしましょう。

③それぞれの高校に関する情報をできるだけたくさん集めるとよいでしょう。たとえば、その高校の卒業生がどんな大学に進んでいるかとか、どんな企業に就職しているかということです。自分の将来の夢がかなえられそうな高校を選んでみましょう。

④両親や先生、友人の話に耳を傾けながら、自分の責任で進学先を決めた方がよいです。

⑤目的をもって高校に進むべきです。そうすれば、周囲に流されることなく、自分の信じた道を進むことができるはずです。

⑥入れる学校ではなく、入りたい学校を考えることが大切です。

⑦勉強以外に、自分がやりたいことができる学校を選びましょう。